

第5回 新県民体育館整備等基本計画検討会 次第

日時：令和8年1月16日（金）10:00～12:00

場所：高知城歴史博物館 1階ホール

1 開会

2 議事

(1) 前回（第4回）の宿題返し

- ・各委員の主な意見とその回答
- ・敷地の比較整理（現県民体育館、旧高知南中高敷地、高知ちばさんセンター）

(2) 今後のスケジュール・論点

(3) アンケート結果・サウンディング調査結果

3 報告

(1) ちばさんセンター大ホールのあり方検討会の状況

4 閉会

第5回 新県民体育館整備等基本計画検討会 委員一覧

(五十音順)

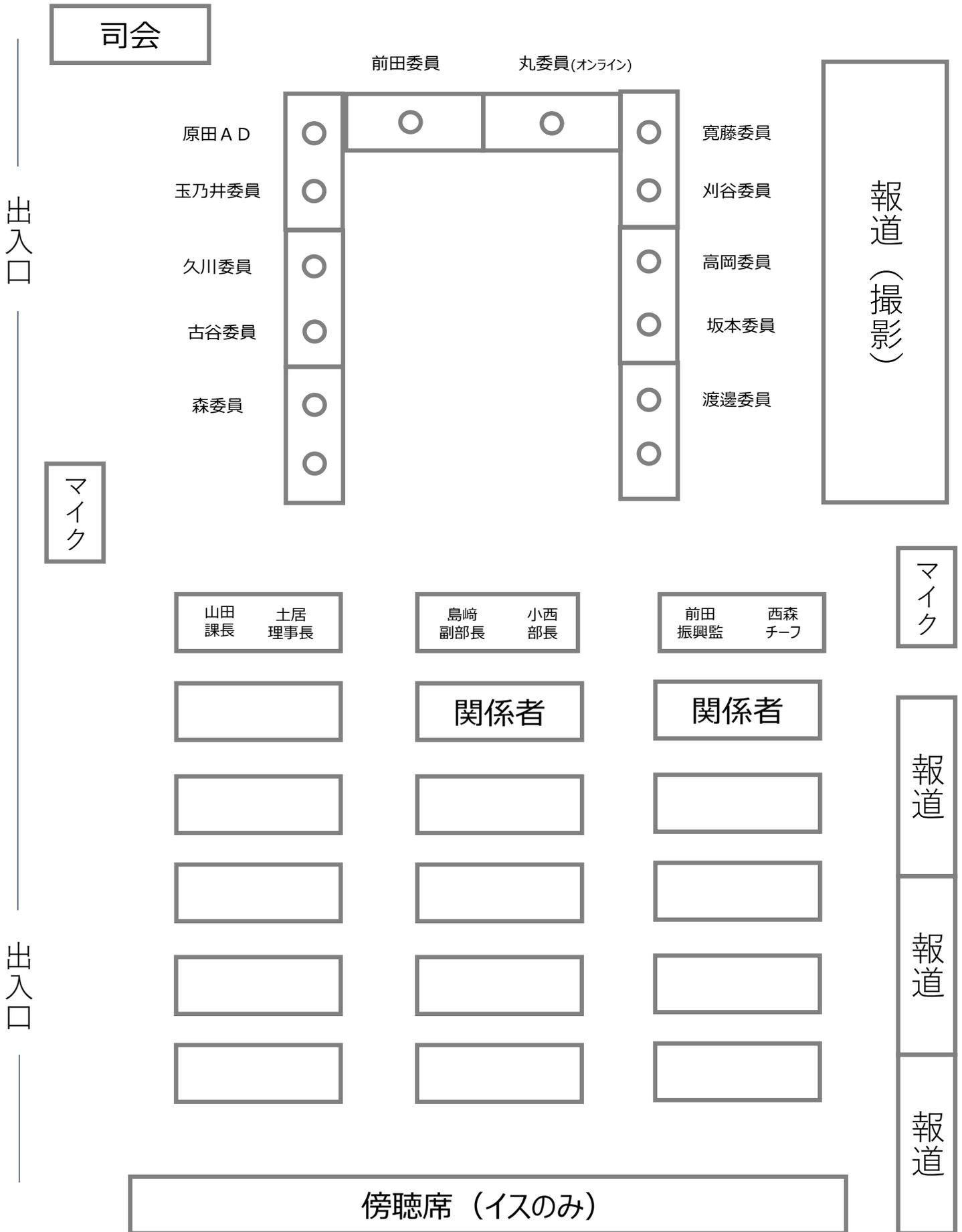
【 委 員 】					
NO.	氏名	所属・役職	分野	出欠	備考
1	刈谷 好孝	公益財団法人高知県スポーツ協会 専務理事	競技スポーツ	○	
2	寛藤 次男	高知県柔道協会 会長	武道	○	
3	坂本 淳	高知大学教育研究部自然科学系理工学部門 講師	防災	○	
4	高岡 幸史	高知市文化観光スポーツ部 部長	自治体 (文化・観光・スポーツ)	○	
5	玉乃井 欣樹	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 理事	コンサート	○	
6	久川 俊秀	高知市文化プラザかるぽーと 館長	文化	○	
7	古谷 純代	高知商工会議所 副会頭	商工	○	
8	前田 和範	高知工科大学経済・マネジメント学群 講師	スポーツマネジメント (アリーナ、Bリーグ)	○	
9	丸 朋子	大阪成蹊大学経営学部スポーツマネジメント学科 講師	スポーツビジネス・産業 (エンターテインメント)	○	オンライン参加
10	森 恒一郎	土佐経済同友会 観光推進委員会委員長	観光	○	
11	渡邊 英孝	高知県立障害者スポーツセンター 所長	障害者スポーツ	○	

【 アドバイザー 】					
NO.	氏名	所属・役職	分野	出欠	備考
1	原田 宗彦	学校法人浪商学園 理事・大阪体育大学学事顧問	スポーツマネジメント	○	

【 オブザーバー 】					
NO.	氏名	所属・役職	分野	出欠	備考
1	土居 秀臣	公益財団法人高知県産業振興センター 理事長	産業振興	○	

第5回 新県民体育館整備等基本計画検討会

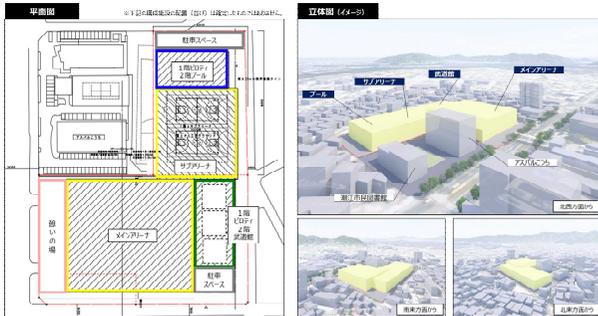
配席図



「第4回新県民体育館整備等基本計画検討会」における主な意見と事務局の回答

No.	項目	委員等からの意見	事務局の回答
1	検討会の目的	検討会の意義について、この会議で決定権はないにしても、この場で検討した内容が反映されているのか疑問。実際この検討会の中で、なかなか我々の意見が反映されないのであれば、検討会の意義とは何なのか。	検討会設置要綱第1条及び第2条に定めるとおり、県の整備案について専門的な識見から意見をいただいている。いただいた意見について、県の責任のもと適宜基本計画や設計に反映していく。
2	進め方・スケジュール	知事と市長のトップ同士の判断で決まっていくというのは、まだアンケート調査も終わっていない状況ではすぐ拙速である。部長からも最終案という説明があったが、遡るような議論も必要ではないか。	「もう少し丁寧に時間をかけて議論すべき」とのご意見を踏まえ、今後検討会で議論する論点とスケジュールを定め、必要であれば3月末の期限を延ばすことも視野に入れて取り組む。最新の整備案をベースに意見をいただく。
3	にぎわいの創出	コストに対する収益については必ず議論が必要。あたかもイベント興行に振り切るような見え方になってしまうが、むしろ社会体育施設がコストセンターと見なされてしまうため、いかににぎわいを生み、収益をあげるかということセットで議論しなければならない。	整備案は日常利用が目的の社会体育施設と収益を生み出す施設の複合型を想定している。その中で互いの施設がいかに使われやすく、運営に支障なくできるか導線や搬入搬出など詳細を引き続き検討していく。
4	にぎわいの創出	目指す姿や基本理念として、まちづくりとあるようにこの場所が地域のコミュニティになるような議論をするべき。メインアリーナを使用していないときもにぎわいを生むような導線確保が必要。	イベントの開催がない日でも、多世代の方が集い、楽しみ、交流ができるスペース（憩いの場、キッチンカー、学習・交流スペースなど）の設置を予定している。
5	にぎわいの創出	この議論は単なる建替ではなく、まちづくりであること。持続可能な施設をつくるためにもいかに収益をあげていくかということに知恵を絞っていく必要があり、そこに時間をかけることこそが責任のある議論である。	No.2とNo.3の回答のとおり。
6	立地	かなり狭い敷地に様々な機能を取り込みすぎると、将来的に機能障害が出ないのか心配。	No.3の回答のとおり。
7	立地	昨年のあり方検討会の時に、この現有地でプールはできれば建設しないという議論もあり、武道館もそのときの話には出ていなかった。今回これらの施設が現有地の計画に入ってくるとなると状況が違いため、今のちばさんセンターの案も含めて全て並べて検討していくということも選択肢としてはある。	現在の県民体育館の敷地、旧高知南中高の敷地、高知ちばさんセンターの敷地の3つを比較できるように整理した。
8	立地	アスパルこうちの不登校の支援をされている方々が懸念している問題やグラウンド問題、プール問題。これらは、ちばさんセンター案ならば、全て解消することができる。去年までの立地そのものの議論と、ちばさんセンター案を天秤にかけてみるということは、非常に有益な代替案の検討として必要ではないか。	No.7の回答のとおり。
9	立地	基本的な考え方に示されているスポーツ、経済、観光という考え方は素晴らしいが、中身をどこまで想定していくかに汗をかけられるかが、責任を持った議論ではないか。次回はちばさんセンターに関しても比較ができるような形で示していただきたい。	No.7の回答のとおり。
10	立地	すでにアリーナ検討が公表されている以上、プロバスケットの話なども出てきており、県民の期待値が上がっている。ここで検討スピードを落とさず前に進めていかないといけない。武道館、ちばさんセンターもそうであるが、南高校跡地も含め、候補地選定時の検討結果も共有してもらいたい。そのうえで、今の配置案をAプランとし、もしちばさんセンターのあり方検討会などの動向で、だめな場合もあるかもしれないので、スピードを緩めないようにBプランを用意し、Aが厳しいとなった場合にBというような進め方でもいいのでは。	現在の県民体育館の敷地、旧高知南中高の敷地、高知ちばさんセンターの敷地の比較についてはNo.7の回答のとおり。検討のスピードや進め方については、No.2の回答のとおり。
11	まちづくり	まちづくりの観点で一般的には15分都市圏内であれば施設間を歩いて行けるというデータもある。はりまや橋からを想定したときに現地までの沿道にもにぎわいがあり楽しくなるようなまちづくりの検討が必要。	今後、住民参加型のワークショップなどを開催し、アリーナを核としたまちづくりを検討していきたい。
12	収支の見通し	収支について、初期と充実期で同じ人件費や維持管理費ではよくないのでは。例えば、時期に応じてスライドしないと1年目と10年目で同じ金額で計算をしていくと破綻してしまうと思う。そこを見据えた金額が少なくとも5年間の単位で考慮されてないと指定管理料を下げるためのものに見えてしまう。	人件費や維持管理費などの支出見込の試算を精査し、より精度を高めていく。
13	武道場	現在も利用調整会議で武道だけにおいても予約が困難な状況。これにサブアリーナの球技団体との調整も出てくるとなると、予約困難となることを懸念している。	大規模な武道の大会を開催する場合は、武道場だけでなくメインアリーナやサブアリーナを使うことを想定している。予約や日程調整などを含めた運用ルールを決定していく。
14	プール	プールの新設でインクルーシブな機能が導入されハードはクリアされるかもしれないが、管理も含めてソフトの部分もクリアできるような配慮をお願いする。障害者スポーツセンターは障害のある方で可能な方は一般のプールも利用できるように助言等をしている。	障害のある方が利用しやすいプールのあり方について、例えば家族更衣室の設置や障害のある方も理解しやすい動線表示などを考えている。運営管理において障害のある方に必要な配慮を行っていく。
15	プール	当初の検討会ではプールのことはあまり出ず、アリーナの機能の話がほとんど。今もプールに関する議論はあまりされていない。授業で使うとか利用制限をかけるとかいろいろあるが、部活で使うとなると一般の人は使えなくなるので、誰がメインで使うかという議論など全くできていない。そこにユニバーサルデザインが入ってくるとなるとプールの議論がなおざりになっている。	プールについては、日常使いの利用に加え、学校の水泳授業の受け込みや、障害のある方も利用することを想定している。これをベースに、例えばスイミングスクールの実施や温浴施設の併設など収益を上げていく手法も含めた事業者からの提案を受けられる設計の仕様を検討している。
16	ちばさんセンター	ちばさんセンターや武道館を集約すれば国の財源が利用できると説明があったが、情報が不足している。ちばさんセンターについて、我々側の知見に圧倒的に不足がある。あり方検討会の情報や財源の情報の共有を。	ちばさんセンター大ホール等あり方検討会における検討状況を情報共有する。

【新県民体育館の施設規模】 メインアリーナ：約9,900㎡ サブアリーナ：約4,900㎡ 武道場：1,650㎡ プール：1,050㎡ 合計17,500㎡ (駐車場部分を除く)

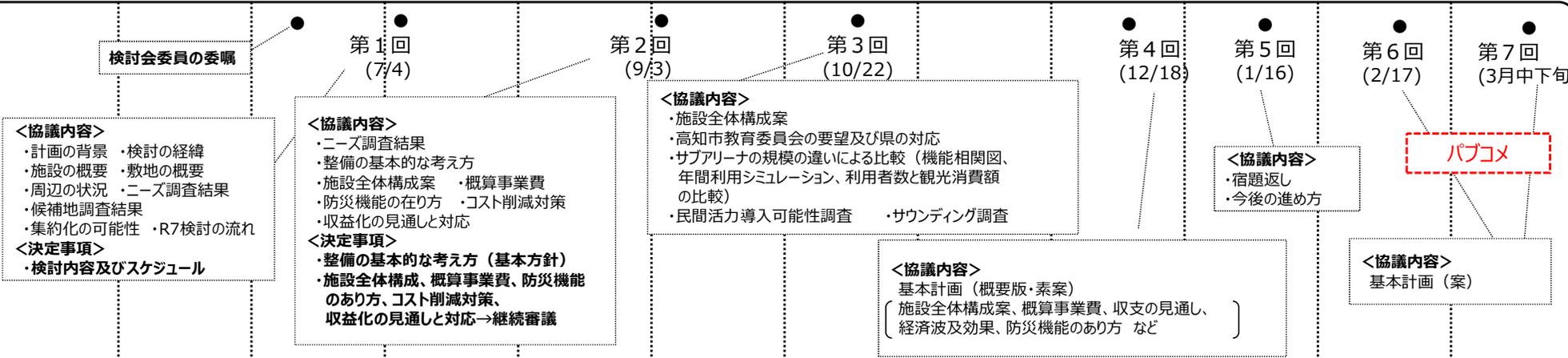
	(1)現県民体育館の敷地 (現有地+旧南消防署敷地+アスパルこうちグラウンド)	(2)旧高知南中高の敷地	(3)高知ぢばさんセンターの敷地
外観・図面			
所在地情報	<p>【所在地】 高知市棧橋通2丁目1番53号 【構成】 県民体育館 (隣地に旧南消防署、アスパルこうちグラウンド) 【敷地面積】 18,283㎡ 【用途地域】 商業地域、第一種住居地域</p>	<p>【所在地】 高知市棧橋通6丁目2-1 【構成】 ①校舎、②グラウンド、③サブグラウンド、④体育館、 ⑤プール、⑥テニスコート 【敷地面積】 67,435㎡ 【用途地域】 商業地域</p>	<p>【所在地】 高知市布師田3992番地2 【構成】 ①大ホール棟、②展示・研修棟、③事務所棟 【敷地面積】 10,175㎡ 【用途地域】 工業専用地域</p>
アクセス	<p>【最寄りの駅・停留所からの所要時間】 とさでん交通(路面電車) 棧橋二丁目駅から徒歩1分 【はりまや橋からの所要時間】 徒歩 約20分 車 約5分</p>	<p>【最寄りの駅・停留所からの所要時間】 とさでん交通(路面電車) 棧橋通五丁目駅から徒歩5分 【はりまや橋からの所要時間】 徒歩 約40分 車 約10分</p>	<p>【最寄りの駅・停留所からの所要時間】 JR土佐一宮駅から徒歩15分 【はりまや橋からの所要時間】 徒歩 約60分 車 約15分</p>
配置施設	メインアリーナ、サブアリーナ、武道館、プール	メインアリーナ、サブアリーナ、武道館、プール	敷地面積上はメインアリーナのみしか入らない
駐車場	250台以上を目指す(現在82台)	校舎を解体すれば高知ぢばさんセンターの駐車場と同数以上の台数を確保できる見込み※地下駐車場は不要	公園敷地部分含め800台程度可能※地下駐車場は不要
賑わいの創出・まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地から徒歩20分圏内 ・公共交通機関(路面電車)によるアクセスが良い ・中心市街地と一体となったまちづくりが描きやすい ・敷地は比較的狭小、隣地に高知市の教育施設があることや、商業地域と第一種住居地域に跨がることから、建設にあたり一定の制約・配慮事項がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地から徒歩40分 ・公共交通機関(路面電車)によるアクセスは(1)より劣る ・敷地面積は広大 ・南校舎4階の一部は、県内の生物標本の保管場所として活用が決定済 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地から徒歩60分 ・周辺は工業系の企業等が集積しており、中心市街地と連携したまちづくりに繋がりにくい ・公共交通機関によるアクセスが不便で、特に音楽コンサートでの一般来場者の利便性が悪い ・工業専用地域にアリーナを建設することは原則不可(建設には用途地域の変更等が必要だが極めて困難)
防災機能	周辺の人口密度が高く、緊急避難場所や避難所としての意義は一番大きい(L2規模で2~3mの浸水想定)	緊急避難場所や避難所としての機能が期待される(L2規模で2~5mの浸水想定)	緊急避難場所や避難所としての機能が期待される(L2規模で0.3m~1mの浸水想定)
既存施設の解体費(粗い試算)	現県民体育館等9.6億円+武道館2.7億円+ぢばさんセンター大ホール4.1億円=合計16.4億円	現県民体育館等9.6億円+武道館2.7億円+ぢばさんセンター大ホール4.1億円+旧高知南中高校舎等13.5億円=合計29.9億円	現県民体育館等9.6億円+武道館2.7億円+ぢばさんセンター大ホール4.1億円=合計16.4億円
<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; font-size: small;"> <仮定> 武道館とぢばさんセンター大ホールの機能を集約し、高施設を解体するとした場合 </div>	<div style="font-size: x-small;"> <試算方法> ・解体費は県民体育館と旧南消防署の解体費の見積額9.6億円(延床面積約10,850㎡(県民体育館8,901㎡+旧南消防署1,945㎡))をベースに㎡単価を算出し、武道館の延床面積3,055㎡とぢばさんセンター大ホールの延床面積4,610㎡をそれぞれ乗じて算出 </div>	<div style="font-size: x-small;"> <試算方法> ・旧高知南中高校舎等の解体費は県民体育館と旧南消防署の解体費の見積額9.6億円(延床面積約10,850㎡(県民体育館8,901㎡+旧南消防署1,945㎡))をベースに㎡単価を算出し、旧高知南中高の延床面積約15,300㎡を乗じて算出 </div>	
解体費の財源	公共施設等適正管理推進事業債が活用可	校舎等の解体費用には国の有利な支援制度を活用できない	公共施設等適正管理推進事業債が活用可

「新県民体育館整備等基本計画検討会」の今年度のスケジュールについて

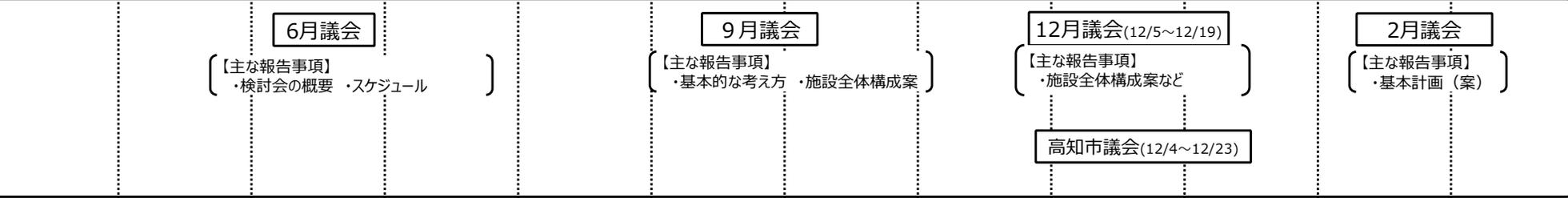
資料 3

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

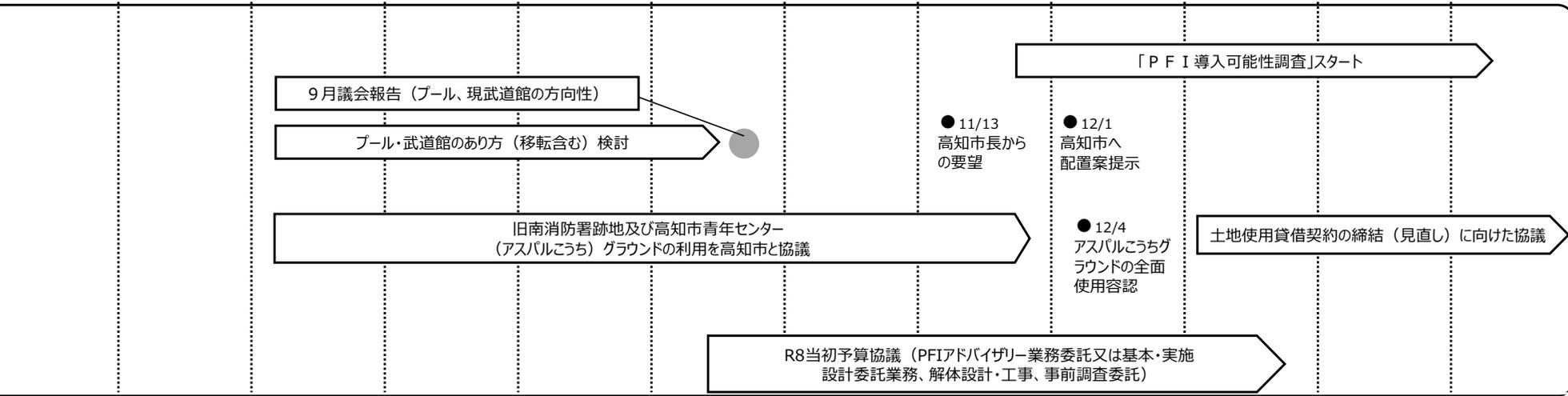
基本計画検討会



議会



検討事項



新県民体育館整備等基本計画策定に向けた論点の整理

【今後の検討会で議論する論点（案）】

○アンケート、オープンハウスの結果及び分析

○民間資本導入に向けたサウンディング調査

○敷地の比較及び県の考え

- ・現在の県民体育館の敷地、旧高知南中高の敷地、
高知ちばさんセンターの敷地

○地下駐車場の整備の可否

○防災機能の充実

○集約化の候補である施設のステークホルダーへのヒアリング

（武道館、障害者スポーツセンタープール、ちばさんセンター）

○動線（各施設の動線、自動車及び搬入出車両の動線）

○控え室やVIPルーム等、諸室の整理

○財源の確保

（公共施設等適正管理推進事業債、緊急防災・減災事業債、
企業版ふるさと納税、クラウドファンディング等）

○集約化した場合の建設及びランニングコストの削減効果

○収支の見通し

○民間資本導入に向けたサウンディング再調査

（一次調査で当たりのあった企業にヒアリング調査）

【目的】

新県民体育館の整備にあたり、現在の県民体育館を利用している、もしくはイメージしやすい学生が多いと思われる県民体育館近辺に位置する高校を対象に、アンケート形式で「こういうものができたら使ってみたい」や「あったらいいなと思う機能・スペース」などの声を把握し、アリーナに備える機能やイベント誘致などの参考にする。

【実施期間】 令和7年11月19日～12月26日

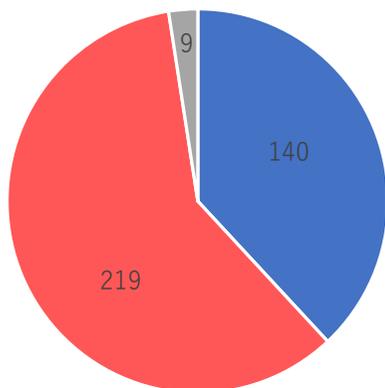
【実施方法】 Q Rコードによるモバイル回答

回答数 **371件**

※下記は主な設問を抜粋

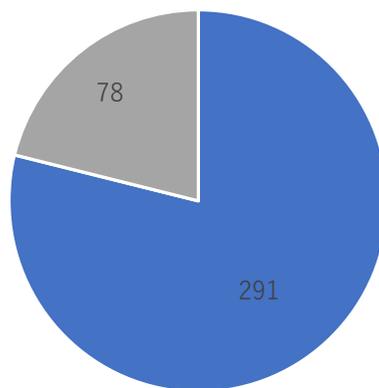
【対象】 県民体育館近辺の高校に在籍する生徒

（設問1）性別



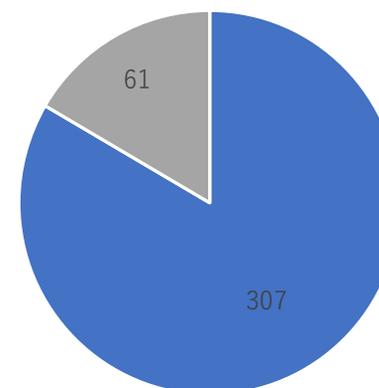
■ 男性 ■ 女性 ■ 答えたくない

（設問2）現県民体育館の利用経験



■ ある ■ ない

（設問3）現プールの利用経験



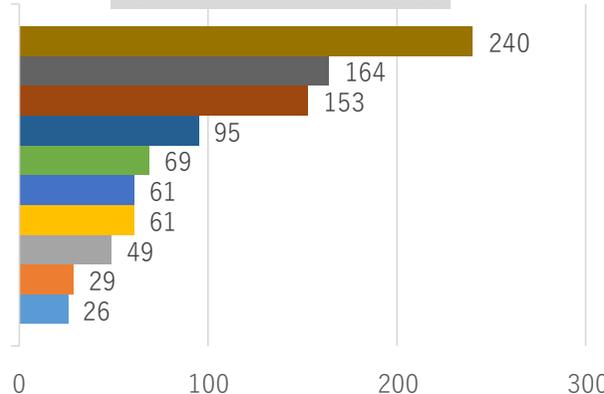
■ ある ■ ない

（設問5）高知県でほしい施設やサービス

※自由記述

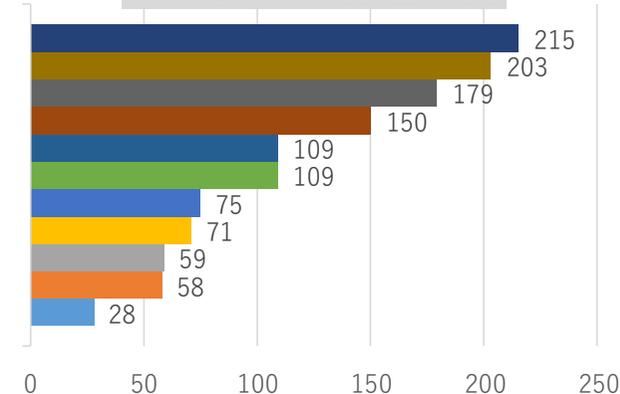
- ・大型ショッピングモール
- ・テーマパークや複合施設
- ・屋内で大人も子供も楽しめるアスレチック
- ・IKEA、サイゼリア、Loft、コストコ
- ・スポッチャのような個人では持てない道具を使って遊べるアミューズメントパーク
- ・バスケット付きの公園
- ・無料でいろんなスポーツができる公園
- ・ゆっくり過ごせる静かな場所
- ・音楽が楽しめる場所
- ・自然いっぱい綺麗な勉強できる場所
- ・無料のフリースペース

（設問6）アリーナに期待すること



■ コンサートや演劇 ■ プロスポーツの試合観戦
 ■ 日常スポーツ ■ 大規模イベント
 ■ スポーツの大会 ■ フィットネスジムの利用
 ■ 展示会やマーケット等 ■ eスポーツ大会
 ■ 専門のトレーナーによる指導 ■ スポーツ教室

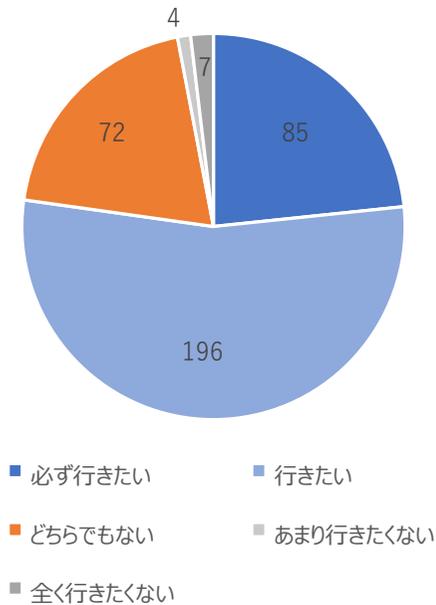
（設問7）アリーナにほしい施設・機能



■ コンビニエンスストア ■ カフェ・レストラン ■ 勉強スペース
 ■ 多目的ルーム(鏡付き) ■ ランニングコース ■ フィットネスジム
 ■ 展望スペース ■ 室内プール(25m)
 ■ 武道館 ■ 屋内キッズスペース

新潟県民体育館の整備に関する市民・県民のニーズ調査（アンケート【高校生】）

（設問8）新しいアリーナに行ってみたいか

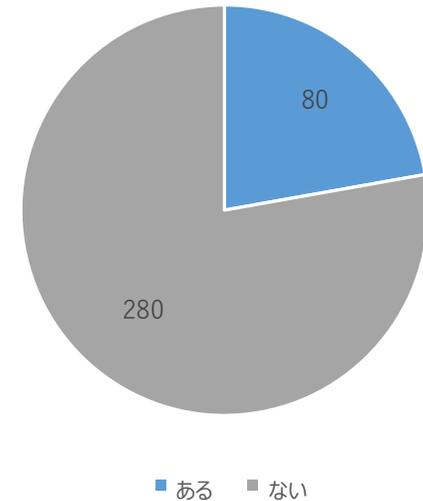


（設問10）アリーナで開催されたら行きたいイベント

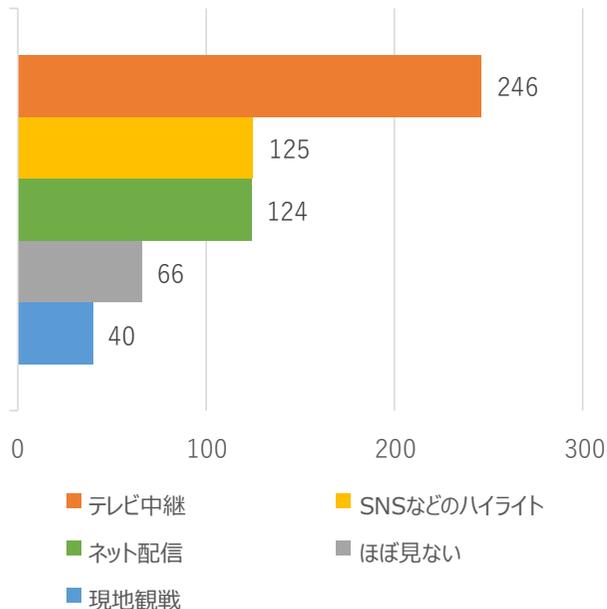
※自由記述

- ・地元のBリーグチームのホーム戦
- ・Wリーグ
- ・コミックマーケット
- ・TGC（東京ガールズコレクション）
- ・プロの選手によるスポーツ教室
- ・プロレスやRIZINなどの格闘技の試合
- ・フットサルの試合
- ・eスポーツ
- ・ヒップホップやラップのライブ
- ・ゲームのファンイベント
- ・K-POP、アイドルのコンサート
- ・音楽フェス
- ・SASUKE

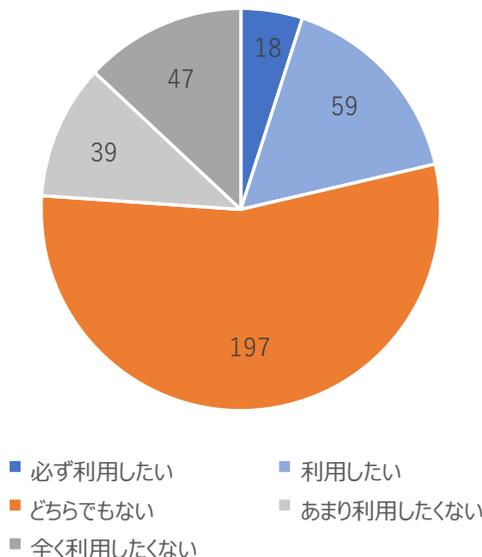
（設問11）屋内プロスポーツを見たことがあるか



（設問12）プロスポーツの観戦方法



（設問13）新たにプールができれば利用したいか



【アンケートの結果の分析】

・都会など県外にあり本県にはまだない商業施設や飲食店を望む声が多い。

・コンサートやプロスポーツ観戦は人気が高く、一方で、日常スポーツも需要が多い。**コンサートやプロスポーツが開催されていない期間においても、県民が利用しやすい施設となるように両立を目指すことが好ましい。**

・アリーナに必要な施設・機能として、コンビニやカフェ、勉強スペースの需要があり、**気軽に立ち寄ったり、落ち着いて勉強できる環境を求めていることがわかる。**

・まだ屋内プロスポーツを見たことがない人は多く、本県での**体験教室や合宿、プレシーズンマッチの開催**など、県民に屋内プロスポーツの魅力に触れてもらうことでファンの裾野が広がる。

新県民体育館の整備に関する市民・県民のニーズ調査（アンケート【アスパルこうち・教育支援センター】）

【目的】

新県民体育館は、現在のアスパルこうちのグラウンドを含む敷地の中に建てることを計画しており、アスパルこうち内の教育支援センターを利用されている方を対象に心配・懸念することや県への要望などの意見を把握し、高知市の教育施設に通う子どもたちへの配慮内容や高知市教育委員会との連携に生かす。

【実施期間】 令和7年11月19日～12月26日

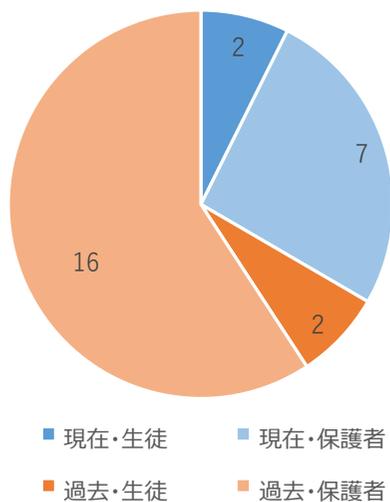
【実施方法】 ①アンケート用紙 ②QRコードによるモバイル回答

【対象】アスパルこうち内にある教育支援センターに通う者（現在の生徒・保護者、過去の生徒・保護者など）

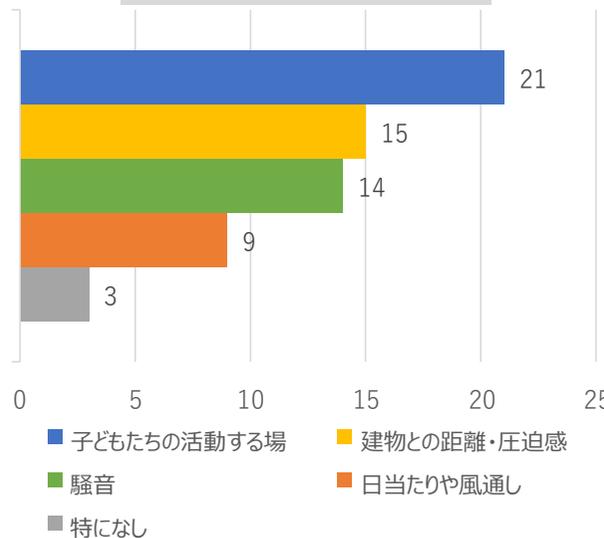
回答数 **27件**

※下記は主な設問を抜粋

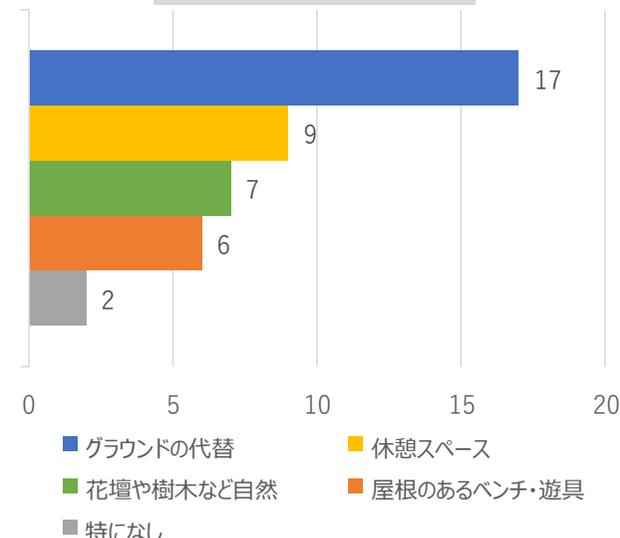
（設問1）あなたのこと



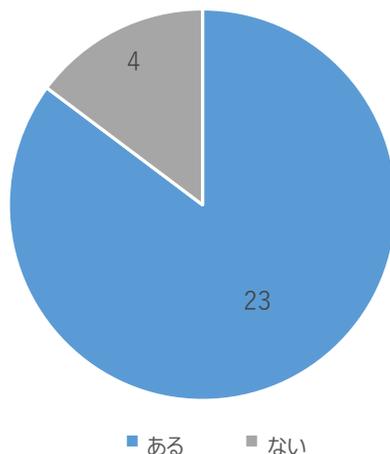
（設問2）アリーナ建設の懸念事項



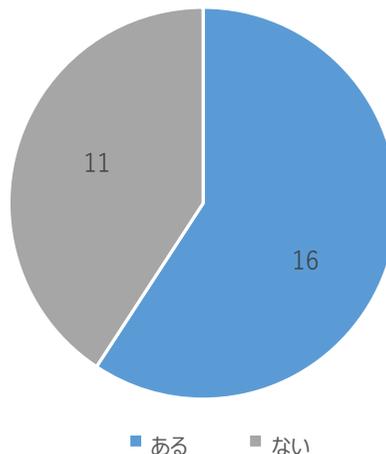
（設問3）アリーナ側に望むこと



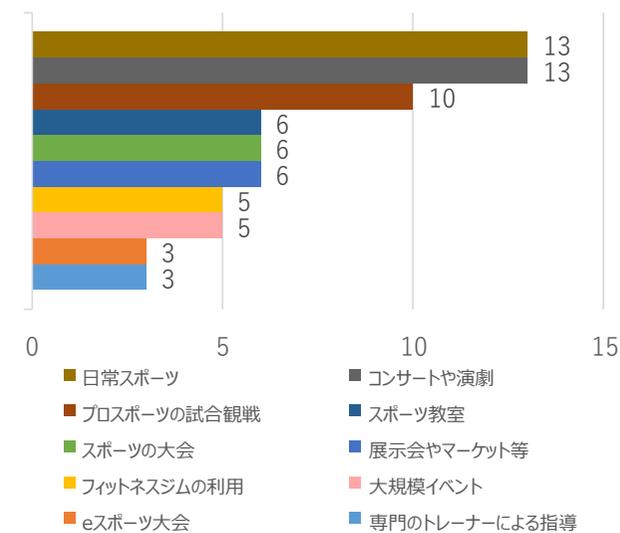
（設問5）現県民体育館の利用経験



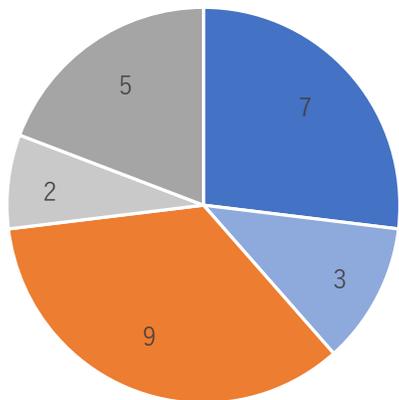
（設問6）現プールの利用経験



（設問7）アリーナに期待すること

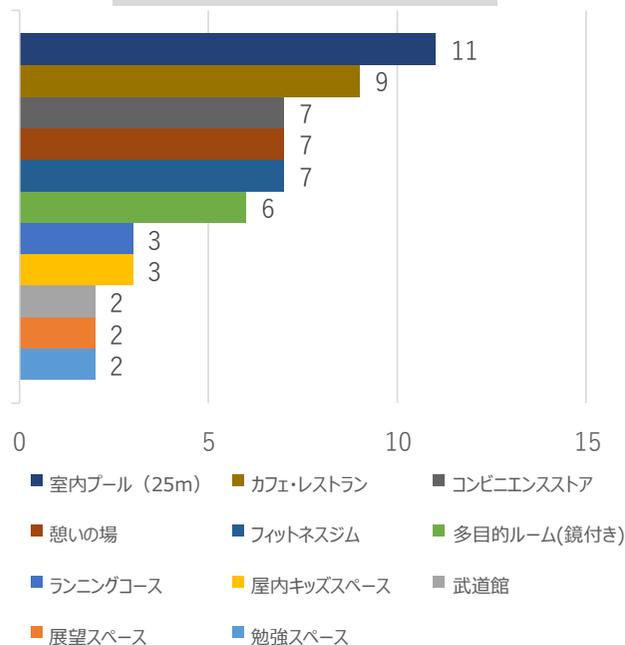


（設問8）新しいアリーナに行ってみたいか



- 必ず行きたい
- 行きたい
- どちらでもない
- あまり行きたくない
- 全く行きたくない

（設問9）アリーナにほしい施設・機能

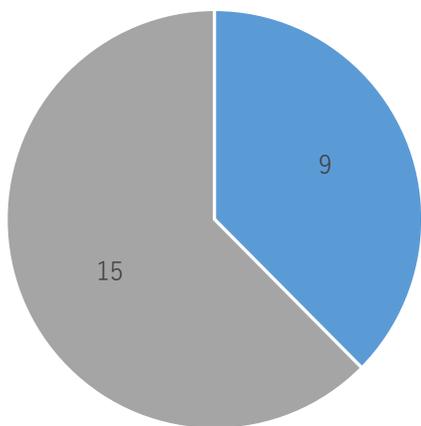


（設問10）アリーナで開催されたら行きたいイベント

※自由記述

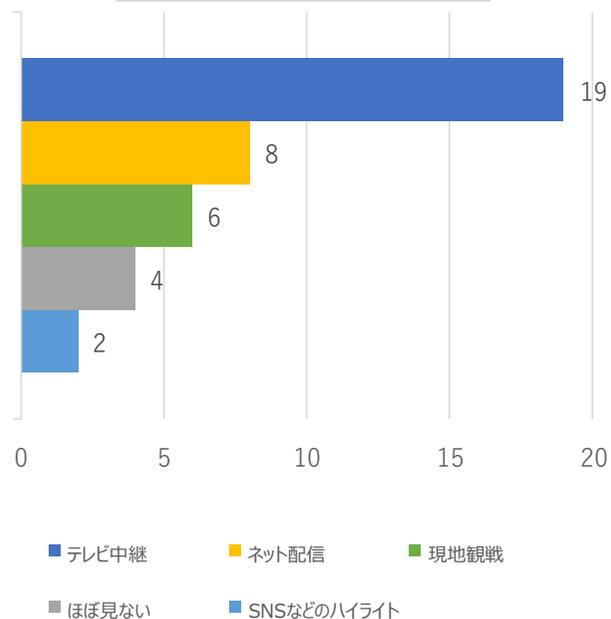
- ・TGC（東京ガールズコレクション）
- ・コミックマーケット
- ・プロバスケットボールの公式戦
- ・プロバレーボールの公式戦
- ・お笑いライブ
- ・アイドルのコンサート
- ・音楽のイベント
- ・ガンダムに関するイベント

（設問11）屋内プロスポーツを見たことがあるか

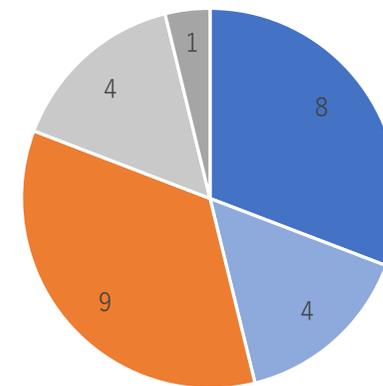


- ある
- ない

（設問12）プロスポーツの観戦方法



（設問13）新たにプールができれば利用したいか



- 必ず利用したい
- 利用したい
- どちらでもない
- あまり利用したくない
- 全く利用したくない

(設問4) ご意見・ご要望 (自由記入)

(賛成・積極)

- ・整備するなら敷地を最大限活用して、様々なイベントが開催できる施設にしてほしい
- ・中途半端なアリーナ整備とならないよう、必要な投資はしっかりと行ってほしい

(反対・懸念)

- ・既存の施設を廃止するのか改修するのか、市や県全体でスポーツ施設の配置を含めて考えるべき
- ・アスパルこうちに通う子ども達にとっては、県内外から多くの人があるような大きな施設が隣にあるのは圧迫感や緊張感を高める原因となる。繊細な学生時代を落ち着いて過ごせるような環境とは言えないのでは
- ・周囲の要求を場当たりに丸呑みしながら総工費は初期設定のままということにして一瞬で押し通そうという気持ちは全く分かりません
- ・絶対反対！屋上にグラウンドは考えられない
- ・アンケートの文面から、グラウンドの敷地を新しい施設にすることが既成事実のような印象を受けます。アンケートを取ることで意見を聴取したテイにして、県の構想のまま進んでいきそうなことに強い憤りを感じます。アンケートを取ったからにはその結果に真摯に向き合い、ゼロペースで検討し直してほしい
- ・アスパルのグラウンドは高知市のもので、勝手に県が使おうとしていることが理解できないし、許せない
- ・大会やイベントなど相応の数を開催しなければ経済効果が生まれないと思うが、その分子どもたちにとっては好ましくない環境になるのでは
- ・今回の県側の進め方からは誠意や丁寧さを見出す事ができない。本来であれば、最低でも高知市に対して事前に通話をしておくべきで、アスパルこうちの利用者に対しても新施設の必要性・メリットを説明して、理解と了承を得るのが当然の礼儀というものではないか
- ・子供たちの意見を聞かずに勝手に話を進めています、何の説明も無く、意見も聞いてもらえず、大切な居場所を奪われた子供たちは将来は高知に居たいと思うのでしょうか

【アンケートの結果の分析】

- ・新県民体育館がアスパルこうちに隣接することによる**物理的な教育環境の悪化が懸念**されていることがわかる。設計において、このような懸念を可能な限り払拭・軽減していく必要がある。
- ・アリーナに望むこととして、グラウンドの代替のほかに**休憩スペースや花壇・樹木、ベンチなど屋外のリフレッシュできる環境を望む声**が得られた。
- ・**コンサートやプロスポーツ観戦は人気が高く、一方で、日常スポーツも需要が多い。**コンサートやプロスポーツが開催されていない期間においても、県民が利用しやすい施設となるように**両立を目指すことが好ましい。**
- ・**室内プールの需要が高く、**続いてカフェ、コンビニ、憩いの場など心身のリフレッシュを望んでいる傾向が見られた。
- ・県の整備案に反対・懸念の声が多く寄せられた。引き続き高知市教育委員会と協議を重ね、高知市の教育施設に通う子どもたちへ配慮した整備となるよう設計に活かしていく。

【目的】

新県民体育館の整備に関する取組を紹介するパネルを掲示し、市民・県民の期待することや希望することをシールや付箋で貼り付けてもらい広く募る

【設置期間】

令和 7 年 11 月 19 日～12 月 26 日

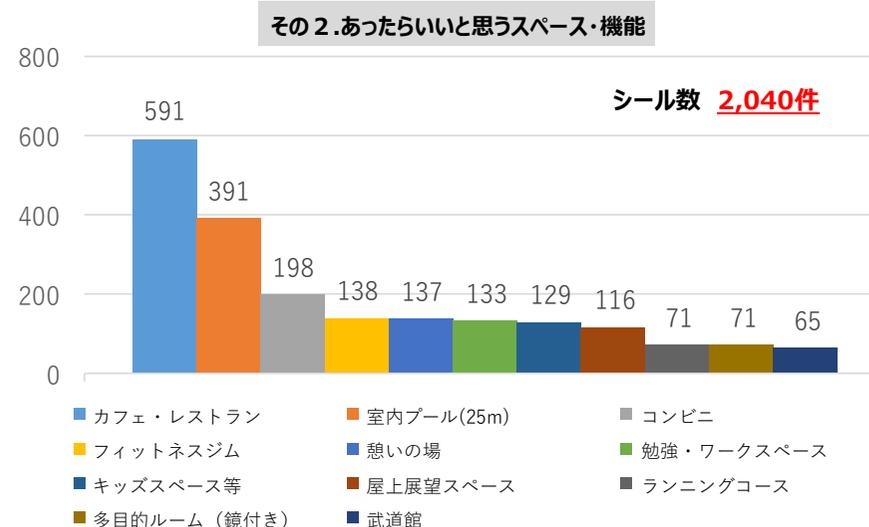
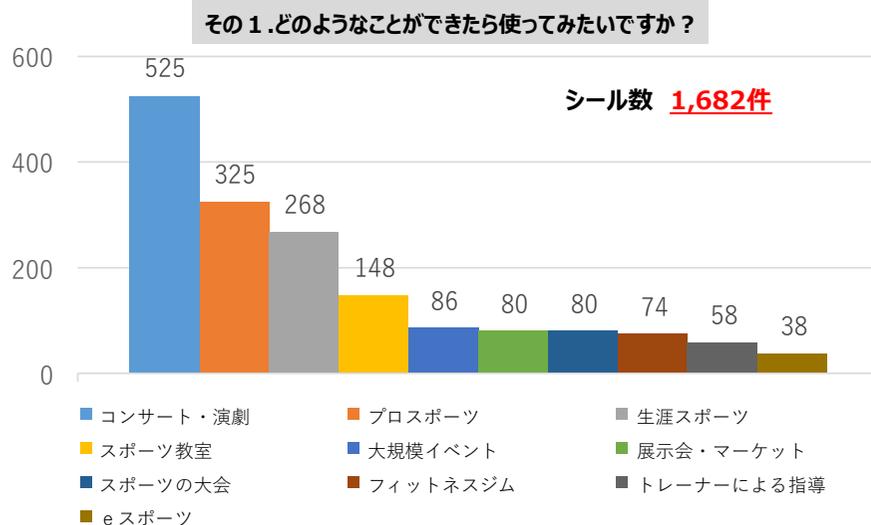
【設置場所】

①高知市役所 1 階正面ロビー ②オーテピア高知図書館 1 階ロビー ③県民体育館 1 階駐車場出入口

【意見総数】（12月26日時点）

シール総数 **3,722件**

自由記入総数 **109件**



その他の意見（自由記述）

賛成・期待

- ・暑いので歩けるコース（屋内）がほしい
- ・屋内のよさこい演舞場を作ってほしい
- ・駐車場を地下か屋上に広く設けてほしい
- ・利用料が安く県民が使いやすい施設にしてほしい
- ・これまで見られなかったアーティストのコンサートを見たい
- ・プールは水深 2 m の稼働式にしてほしい
- ・駐車場がなくても公共交通機関を利用すればよい
- ・災害時の避難所になるようスロープをつけてほしい
- ・重度の障害があっても利用できるよう、多目的トイレのベッドを広くしてほしい。

反対・懸念

- ・新たな大きな施設は不要。今ある施設を活かして整備をしてほしい
- ・県民の税負担が増える箱物には反対。創意工夫でなるべく予算をコンパクトに
- ・運動場は駐車場としても使えるので、そのまま残すべき。
- ・大規模で派手なコストがかかるものより、利用料が安く県民が使いやすい施設にしてほしい
- ・これだけ施設が入ると、駐車場が足りるか心配。複数のイベントが重なると駐車できない
- ・どうして地震の影響が大きい場所なのか。もっと安全な場所にすべき
- ・子どもたちが利用しているグラウンドを守り、別の形で再整備、活用方法を

【目的】

- ①本事業に対する適正な競争環境を醸成させるため、高知県に所縁/土地勘のない企業も含めた事業者への本事業の周知とともに本事業への関心の有無を把握する。
- ②運営企業及び維持管理企業が携わることにより、コスト削減、その他民間ならではの創意工夫・ノウハウ発揮が見込めるか否かを把握する。
- ③近年の資材価格の高騰等により特に建設コストが上昇していることや受注状況を鑑み、確実かつ円滑な事業進捗を実現するため、建設企業の参画可能性を把握する。

【実施期間】 令和 7 年11月21日～12月17日

【対象事業者】 業種やエリアのバランスを考慮し、①建設②運営③維持管理④その他の業種合わせて計**19社**（地元企業、在京企業含む）

質 問	示 唆
① 本事業への関心	<ul style="list-style-type: none"> • 全国区の建設企業複数社が関心を示すなど、本事業への関心度は高いものと思われる。ただし、先行案件により建設企業が繁忙となる可能性から、準大手や県内ゼネコンも含めた市場を構築する必要がある。 • 運営・維持管理企業のうち、四国地方や高知県に営業拠点がない企業は、それを理由に関心が高まりきっていない。 • 予算や事業手法が定かになれば、民間事業者側の姿勢がより明確になるものと考えられる。
② 関心のある業務範囲・立場	<ul style="list-style-type: none"> • 全国区の建設企業・運営企業が、代表企業を務めることとなる見込みがある。 • 設計～維持管理まで、それぞれ複数の事業者が関心を持っている。 • アリーナビジネスに長けた運営事業者（例：広告代理店、プロモーター）がどのように参画するか、どのようなアリーナ活用の可能性が模索できるのかが、各企業の関心事となっている。
③ 対象施設及び周辺地域のポテンシャル	<ul style="list-style-type: none"> • 県内の他の運動施設と比べると、中心市街地からのアクセスが良いことや、現状で県民の利用が定着していることが評価された。 • 一方で、興行開催を念頭に置いたうえで、5,000人規模で集客できる興行を定期的に行うことができるポテンシャルを有すると評価した意見は寄せられなかった。
④ 民間事業者のノウハウが期待できるポイント（整備面）	<ul style="list-style-type: none"> • 現状、施設規模や配置パターンが未定であることから、整備面（設計・施工）に関する具体的なノウハウ発揮の言及は限定的であった。 • 災害時には浸水することが想定される敷地であるため、浸水対策を重視する意見が複数あり、特に駐車場の整備については、浸水リスク及び施工コストが高い地下駐車場を避け、地上に設置することが推奨された。 • 新県民体育館は、アリーナ、プール、武道館から構成されるものの、整備面では特殊性が少ない施設であるため、ゼネコン側は、民間ノウハウ発揮の余地があるという見解であり、参入者が限られるという事業ではないことが伺える。
⑤ 民間事業者のノウハウが期待できるポイント（維持管理・運営面）	<ul style="list-style-type: none"> • 運営面、維持管理面において民間ノウハウは発揮できる事業であることが分かった。 • 維持管理費は10,000～12,000円/m²・年が目安と推測される。運営費や職員配置数については各社見解が分かれる。総じて維持管理費・運営費の削減の余地は見込める施設規模である。 • プールがあることで、スイミングスクール事業や温浴施設等により民間事業者が自主事業を実施できる機会が生まれやすくなる。そのため、スイミングスクール事業や学校の水泳事業の受入といった用途があることで、新県民体育館の利用者層の幅を広げ、ひいては収益化の幅を広げられる点ではメリットがあることが分かった。プール事業については、総じてコストに見合った投資対効果は得られるものと思料する。 • 興行利用による収益化を目指すためには、Bリーグチーム等のアリーナ運営におけるコンテンツの核となる存在が検討段階で存在している/存在していない場合は創設の確度が高い、あるいは創設に向けた動きが活発である状況が前提条件であることが伺えた。現状は、収益性が弱いため、訴求力を高める必要がある。

質 問	示 唆
⑥ 民間施設の導入可能性	<ul style="list-style-type: none"> • いずれの企業も立地面を理由に飲食・物販施設の誘致は難しいことが分かった。他方で、スポーツ合宿やオフシーズンのキャンプ地誘致等はビジネスチャンスとして期待できる。 • 飲食・物販施設は常設は難しいものの、スポーツの試合や大会時に合わせてキッチンカーの設置や無人販売の店舗形態、飲食業態以外の事業展開等、様々な店舗形態による事業展開の方策がみられた。設え上の工夫も、収益性に寄与するポイントとなることが伺えた。 • プロスポーツチームに頼り過ぎるのではなく、アマチュアから学生まで裾野を広げ、スポーツを呼び水とし、日常利用と興行利用の稼働バランスを整えていくことが、長期かつ安定的な施設運営においては必要となる。
⑦ 本事業における望ましい事業手法	<ul style="list-style-type: none"> • ゼネコンは施設の特殊性やプロスポーツコンテンツ不在の観点からDB方式、維持管理・運営側はコストメリットの観点からPFI方式が望ましいことが分かった。民間事業者側は、現指定管理者の関与や位置づけによって、事業手法が変わる。 • 高知県・高知市と事業連携がとりやすい従来方式やDB方式が望ましいとする意見があった。 • 特に民間事業者が維持管理と運営を一体的に行うPFI方式は、運営者目線で施設設計・整備に対しても意見できることがメリットであり、結果、人員配置の適正化や先端技術の導入等によるコスト削減が果たせる事業であることが分かった。 • 一方で、維持管理・運営が業務範囲に含まれることで、当該ノウハウ・実績を有する地元事業者が限定されるため、地元事業者からは従来方式を望む点にも留意が必要。
⑧ 事業スケジュールに対する意見	<ul style="list-style-type: none"> • 最短となる2029年（令和11年） 供用開始に向けた段取りでは、繁忙状況からして参画が難しいとする事業者が見られたが、スケジュールが後ろ倒しになる分には各社から歓迎されていた。 • ただし、後ろ倒しになることでより建設単価が大きくなる可能性があることが指摘された。 • 運営企業からは、公募準備期間を十分に設けることが要望された。現指定管理者からは、休館期間を短くすることで利用者離れを防ぎたい考えが示された。
⑨ 本事業への課題・懸念点等	<ul style="list-style-type: none"> • アリーナを本拠地とするプロチームが不在であることによる運営の困難が強く懸念されている。 • 土間コンクリート仕様とすることや、屋上グラウンド、可動式競技床、プールの整備について、コストアップ要因であることが指摘された。 • 発注者となる県において、本事業において達成すべきこと（日常/興行、ターゲット層、スポーツの種類など）を絞り込んでいく必要がある。
⑩ 県への要望等	<ul style="list-style-type: none"> • 建設費用の高騰を想定した、十分な予算の確保がなければ、不調となる可能性がある。 • アリーナ事業単体で黒字化することは難しいので、本事業によるエリア活性化に意義を見出すことで公共が積極的に投資する姿勢が求められる。 • 公募の際は、地元企業が参画しやすい要件設定とすることや、光熱水費等の変動費を明瞭に会計すること、物価高騰への適切な対応を導入することが求められている。

ちばさんセンター大ホール等あり方検討会設置要綱

(設置)

第1条 ちばさんセンター大ホール及び研修棟、商談室並びに駐車場（以下「大ホール等」という。）の今後のあり方を検討するにあたり、経済団体、業界団体、大学、行政機関から意見を聴くため、「ちばさんセンター大ホール等あり方検討会」（以下、「検討会」という。）を設置する。

(検討事項)

第2条 検討会の委員は、次の事項について検討し、意見を述べるものとする。

- (1) 大ホール等の活用に関すること。
- (2) 大ホール等の必要性（廃止も含めた存続の可否・存続期間）の検討に関すること。
- (3) その他大ホール等のあり方の検討について必要な事項に関すること。

(組織及び委員の任期)

第3条 検討会の委員は、17名以内で組織する。

- 2 検討会の委員は、理事長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、委嘱の日から令和8年3月31日までとする。

(委員長、副委員長)

第4条 検討会に委員長を1名、副委員長を1名置く。

- 2 委員長は委員の互選により選任し、副委員長は委員長が指名する。
- 3 委員長は、検討会を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐するとともに、委員長に事故がある時は委員長を代理し、検討会を総理する。

(検討会)

第5条 検討会は、委員長が招集する。ただし、委員長が選任される前に召集される検討会については、理事長が招集することができる。

- 2 委員長は、検討会の議長となる。
- 3 検討会は、委員の過半数の出席によって成立する。
- 4 第3条に定める委員が出席できないときは、当該委員が指名する者がその職務を代理することができる。
- 5 委員長は、必要があると認められるときは、検討会の委員以外の者に意見または出席を求めることができる。

(事務局)

第6条 検討会の事務局は、(公財)高知県産業振興センター総務企画部に置く。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は委員長が検討会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和7年4月17日から施行する。

附 則

この要綱は、令和7年7月16日から施行する。

ちばさんセンター大ホール等あり方検討会 委員名簿

	団体名	役職	委員
1	高知県商工会議所連合会	総務企画部副部長	平島 輝之
2	高知県商工会連合会	事務局長	内田 知行
3	高知県中小企業団体中央会	総務企画部長	古木 健雄
4	一般社団法人高知県工業会	会長	山崎 道生
5	一般社団法人高知県製紙工業会	事務局長	笹岡 正明
6	高知県農業協同組合中央会	総務企画部長	藤井 洋光
7	高知県漁業協同組合	総務部長	岡林 大志
8	国立大学法人高知大学	副学長（地域連携担当） 兼次世代地域創造センター長	石塚 悟史
9	高知県公立大学法人高知工科大学	副学長	岩田 誠
10	高知県公立大学法人高知県立大学	副学長	五百蔵 高浩
11	高知県市長会	事務局長	山崎 敬造
12	高知県町村会	事務局長	笹岡 貴文
13	高知市	副市長	神谷 美来
14	一般財団法人高知県地産外商公社	外商局 高知事務所長	畑山 大輔
15	高知県商工労働部	高知県商工労働部長	岡田 忠明

大ホール等の施設概要

1. 完成年：昭和61年(1986年)
2. 所在地：高知市布師田3992番地2
3. 面積：敷地面積：10,175㎡ 建築面積：5,604㎡
(中小企業会館を含む延面積：8,565㎡)

※敷地内の土地は県有地

4. 施設内容

①大ホール棟 : 4,610㎡
鉄筋コンクリート造2階建

②展示、研修棟 : 734㎡
鉄筋コンクリート造2階建

③事務所棟 : 2,522㎡
鉄筋コンクリート造5階建
※2階から5階は4団体(センター、高知県商工会連合会、高知県中小企業団体中央会、高知県火災共済協同組合)がそれぞれ区分所有



5. 貸出施設等の概要

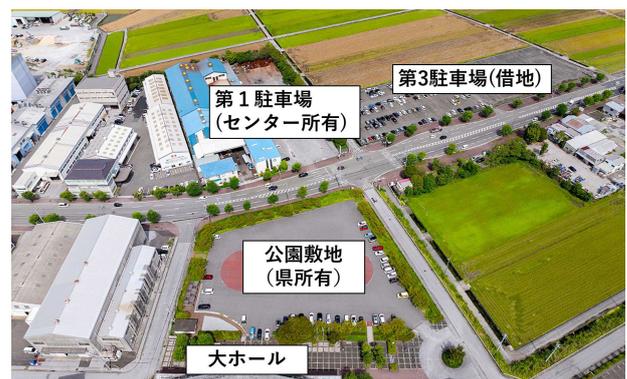
○屋内施設

施設区分	階層	施設名	面積 (㎡)	収容人数
①大ホール棟	1階、2階	大ホール	3,000	5,000
②展示、研修棟	1階	多目的ホール	256	132
	2階	第1研修室	128	100
	2階	第2研修室	80	45
③事務所棟	1階	会議室	48	20
	1階	商談室1～4	24	12
	5階	第3研修室	128	100

※第3研修室は平成26年より一般貸出を行っていない
(よろず支援拠点、高知県中小企業団体中央会利用)

○屋外駐車場

区分	面積(㎡)	駐車可能台数
第1駐車場	3,528	137台
第3駐車場	8,681	400台



(2) 県民体育館の検討状況について（発言順）

県観光振興スポーツ部：資料2に基づき、県民体育館の検討状況を説明。

(委員長)

展示会機能の代替は可能そうだが、大型展示会の搬出入動線やスポーツ利用への影響に懸念がある。懸案事項への対応ができれば問題ないとの認識。

(副委員長)

両検討会の情報共有が不十分。修繕費だけでなく、長期維持費、現状と今後の収支、立地のメリット・デメリットも共有すべき。

(委員)

建て替えと体育館整備のメリット・デメリットを一覧で比較すべき。

1施設で対応可能なら二重投資は避けるべき。市町村負担増は現実的に厳しい。

(理事長)

指摘はもつともで、スポーツ課と情報共有しながら進める。

センター設立時に中央広域市町村から出資いただいた経緯はあるが、今後市町村に新たな出資を求める考えはない。

(委員)

大ホール集約化の議論が途中から出た経緯に疑問。

公益財団法人として理事会・評議員会の決定が不可欠。集約化理由の説明を求める。

(県スポーツ課)

当初は集約化構想はなかったが、老朽化対策やMICE活用、中心街活性化の観点から検討が始まった。

(委員)

集約化しない場合でも起債は活用できるのか確認。

(県スポーツ課)

起債は延床面積削減が条件。武道館やプール等も含めて検討中。

(委員)

建物が財団所有のため、県有化が必要ではないかと指摘。

(理事長)

集約化する場合、県がどのように県有化するか十分な議論が必要。

(委員)

地下駐車場の増額規模、短期間での積算の妥当性を質問。

(県スポーツ課)

地下駐車場の16億円は全て増額分。必要台数確保のため県庁内で検討した結果。

(委員)

大ホール解体費用はどの程度見込んでいるか質問。

(県スポーツ課)

現時点の資料に解体費は含めていない。

(委員)

大ホールの解体・P3駐車場の原状回復で3億円超の可能性、大ホール廃止による収益悪化を懸念。

(理事長)

大ホール廃止時は収益減となるため、今後の運営は要検討。

(委員)

メリット・デメリット整理が不可欠で、センターの運営について最終的に誰が費用負担するかの問題になると指摘。

(委員)

今後の方向性判断には、理事会・評議員会での承認が重要。

(委員長)

センター施設を整理した上で、体育館検討会へ判断材料として情報共有を進めることで整理。